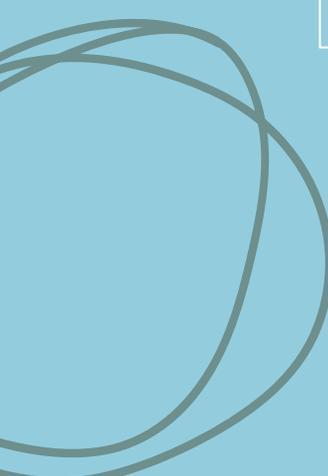




*Department
of
Pharmacy*

O M I Y A
C E N T R A L
G E N E R A L
H O S P I T A L



<https://ocgh.jp>

O m i y a C e n t r a l G e n e r a l H o s p i t a l

ごあいさつ

病院薬剤師には、医薬品の調剤や管理だけでなく、薬に関する様々な情報の収集と提供およびそれらの医療スタッフ間での共有の推進、薬物動態に基づく投与設計などが求められています。私たち薬剤師は薬の専門家として各診療科および各部門と連携し、患者様一人ひとりに適した薬物療法の推進に努めています。



理念・方針

理念

適切で安全な薬物療法の提供

方針

- 薬剤師の専門性を発揮し、適切な薬物療法が行われるよう支援します。
- 薬物療法を通じて医療の質の向上を図ります。
- チーム医療の一員として薬の適正使用を推進します。
- 思いやりを持って患者様中心の医療に参画します。
- 常に自己研鑽し、より質の高い医療に貢献できることを目指します。

我々が目指すもの

私たち薬剤師は薬の専門家として様々な仕事を行っています。
病院で使用する薬剤を責任持って管理することも、医薬品にかかわる情報をしっかり管理することも重要な仕事です。
そして患者様に使用される薬剤をしっかりと管理することも大切な仕事です。
同じ薬剤を使用しても患者様ごとに結果は異なってきます。
症状の改善が見られる場合もあれば、副作用が発現し、薬剤の使用を中止せざるを得ない場合もあります。
私たちはどのような場合にも患者様個々に寄り添い、その患者様に最適な薬物療法を提案していきます。
私たちは常にジェネラリストとして患者様の薬物療法に責任を持って向き合っています。
そして更にスペシャリストとしてより専門的に治療に参画できるよう日々努力していきます。
薬剤課では常にその取り組みを行っています。

薬剤課について

人数	薬剤師14名			
年齢層	20代4名	30代4名	40代1名	50代以上5名
男女比	男性4名	女性10名		

※2024年4月現在



薬剤課 課長



薬剤課の先輩達

先輩職員インタビュー



薬剤師歴8年目 主任Hさん

薬剤師歴8年のHです。医薬品情報業務と兼任して新規入職者へのOJTを行っています。私は新卒より4年間別の病院で勤務し、その後大宮中央総合病院に転職しました。新卒時にはあまり目標意識はなく働きながら方向性を定めていけたらと思い、とりあえずの思いで大きな病院に希望を出しました。調剤など薬剤師の基礎を学び、病棟薬剤師を経験し思うことは「必要なことはわからない分野がないことだ」ということです。1人の患者様＝1つの疾患ということは少ないです。症状1つ考えるだけでも様々な条件を考える必要があります。8年働いて思うところはスペシャリストよりも前にジェネラリストである必要があるということです。病棟ごとに専門科となることも多いですが、当院では大きなくりで外科の病棟・内科の病棟と分けられている為、より広く経験を積むことができます。臨床に向き合うことで見えてくる将来像があります。なりたい方向性を見つけられるよう支援をしていきます。

入職してからは、調剤業務を行っていましたが、最近では病棟薬剤師として1つの病棟を担当しております。病棟では医師や看護師と接する機会も多くなり、自身の知識が処方に活かされるとき、チーム医療の一員であることをより実感することも多くなりました。調剤薬局の経験はありますが、病院薬剤師としては約2年程の経験しかないため、先輩方から教わることも多い毎日ですが、皆優しく質問しやすいとても良い環境で勤務できていると思います。



薬剤師歴4年目 Nさん

業務内容

調剤業務

調剤支援システムで管理し、必要に応じて全自動分包機で一包化を行っています。

最初に処方箋監査を行い、患者様の検査データを参照し適切な用量、用法の処方が行われているかどうか確認します。

また独自の投薬歴を用いて、処方漏れや削除漏れの薬剤もチェックします。



その上で、患者様に適切に薬剤が投与されるように調剤、監査を行っています。

更に、看護師が与薬を行っている患者様の薬は薬剤師が与薬カートに配薬を行うことで、より確実に投薬できるようにしています。

注射調剤業務

患者様ごと個別に点滴などの注射薬調剤をしています。

薬剤師が注射オーダーを確認することにより、投与量、投与速度、配合変化に関しても適切な指示が行えます。

医薬品管理業務

病院内に必要な薬剤が過不足なく在庫できるよう管理しています。

各部門と連携を取り、適切な在庫量を確保し、供給します。また薬剤の期限管理も行っています。

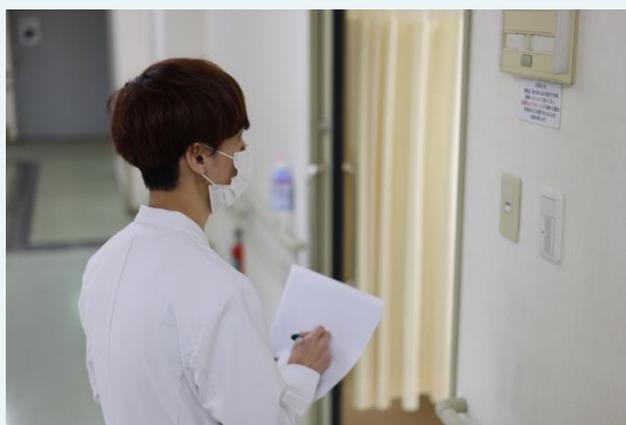


薬剤管理指導業務

各病棟に担当薬剤師を配置し、患者様に投与される薬剤について様々なチェックを行っています。

また患者様に直接お話を伺って、薬剤の効果や副作用の有無を確認しています。

薬剤師は患者様の薬物療法が適切にかつ安全に行われるように、治療に参画しています。



《入院時》

入院された患者様またはご家族と面談を行い、情報提供書、お薬手帳を使って、持参薬・市販薬・健康食品やサプリメント等の内容、服薬状況、薬物相互作用等を確認します。

その際、アレルギー歴・副作用歴の確認も行い、継続や中止などの指示を把握した上で処方进行调整します。

《入院中》

薬剤を投与する際に効能・効果、用法・用量、剤形の確認、服用時の注意点、起こり得る副作用等を患者様またはご家族に説明します。

そして患者様が薬剤を服用できているか、適切に使用しているかを確認します。

またご本人との面談、カルテの検査値などのデータから効果発現、副作用の有無を確認しています。

更に患者様個々に適切な剤形、用量、用法などを検討し、医師に提案することで患者様の適切で安全な薬物療法に関与しています。



《退院時》

患者様の退院後の生活を考慮し、退院薬についての提案を行っています。

また退院時に処方された薬剤や入院中に使用していた薬剤の情報を提供し、その後の薬物療法が確実に行われるように、ご本人やご家族に様々な説明を行っています。



医薬品情報業務（DI業務）

医薬品に関する最新の情報を常に把握し、院内のスタッフに発信しています。

また医師を始めとするスタッフからの様々な質問に対応しています。



1日のスケジュール

- 8：30～8：45 朝礼

全員で朝礼を行います。他部署からの情報を伝達、業務の変更や注意点などの情報共有を行います。

- 8：45～9：00 各部門に分かれてミーティング

調剤・薬剤管理部門ではその日のスケジュールや注意事項を共有します。
病棟業務部門では病棟担当者間で必要な情報共有を行います。

- 9：00～13：00 午前の業務開始

調剤部門では定期薬の調剤がメイン業務です。
病棟業務部門では退院患者様の指導、検査結果の確認など処方提案に必要な事項等の検討を行います。

- 12：00～14：00 お昼休み（1時間）

お昼休憩は、各自業務の状況を見て12時～14時の間に1時間取得します。

- 14：00～17：30 午後業務

調剤部門では臨時薬、退院薬の調剤をメインに行います。
患者様が入院・転院された時は、調剤室で持参薬、服薬歴の確認などの業務も行います。更に病棟担当者が本人あるいは家族と面談し使用薬剤の確認等を行います。病棟業務部門では入院患者様の指導、処方提案、薬歴の確認、指導記録の入力などを行います。
注射は医師のオーダー入力を確認し、修正等の必要があれば依頼をかけます。その後注射の患者個別セットを行います。

教育体制

安心の教育体制

新人には指導薬剤師として先輩がついて、業務や薬剤課の方針等を指導していきます。また、一定レベル以上で仕事ができるよう、他の薬剤師も全員でサポートします。

▶調剤等の一般業務の指導

まず基本的な事柄を習得できるよう指導を行います。病院の内規や気を付けるべき事柄についての説明を行い、病院薬剤師として行うべき事がしっかりと身に付くようにします。



▶電子カルテの使い方、調剤システムの操作法等の指導

電子カルテで処方監査を行い適正な処方であることを確認することや、疑義照会、調剤上の工夫等、薬剤師としてのスキルアップを支援します。

▶薬歴等で投薬歴の管理

当院では処方歴とともに患者様の服薬歴を管理しています。服薬歴の管理に必要なことを指導します。



▶処方箋解析

一枚の処方箋から読み取るべきこと、気を付けなければならないこと、考えるべきことは数多くあります。患者様の薬物療法が適正に行われる為に、それらをしっかりと読み取ることができるよう支援します。

この他、注射業務では各薬剤の特徴、用法、治療に関すること等を指導していきます。

年間スケジュール

● 4月 調剤

- ・ 採用薬品を把握する。
- ・ 調剤の流れを理解する。
- ・ 電子カルテ、調剤システムの運用について理解する。



● 6月 注射調剤

- ・ 採用薬品を把握する
- ・ 注射調剤の流れを把握する。
- ・ 配合変化、投与速度などについて理解する。



● 7月 病棟、外来、各部門の薬剤、発注、入庫

- ・ 各部門で使用する薬剤について把握する。
- ・ 医薬品の発注、入庫について理解する。



● 9月 監査

- ・ 監査業務が間違いなく行える。

※調剤、注射調剤に関しては並行して行う場合もあります。



10月以降は9月までの習熟状況を見て判断します。
9月までに一般業務が滞りなくできることを目指します。
薬剤管理指導業務は達成度、進捗状況に応じて研修を始めます。



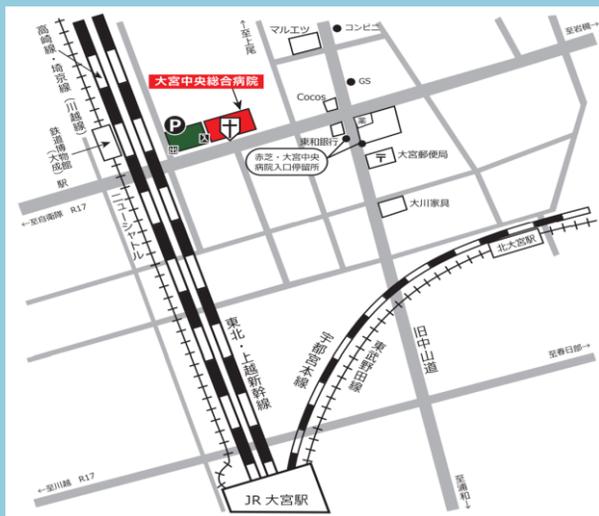
朝礼風景



看護師との打ち合わせ風景



医療法人へブロン会 大宮中央総合病院



●電車でお越しの方

電車でお越しの方

- ニューシャトル「鉄道博物館駅」下車 徒歩5分
下車後大宮方向の信号を左折、ガード下をくぐり直進左側
- 東武アーバンライン「北大宮駅」下車 徒歩12分
東武アーバンライン大宮駅から一つ目の「北大宮駅」を下車 地図参照

●バスでお越しの方

バスでお越しの方

- 路線バス 「赤芝・大宮中央病院入口」下車 徒歩2分
JR大宮駅東口から 東武バス 大42 大51
- さいたま市コミュニティバス「大宮中央総合病院」下車

●お車でお越しの方

お車でお越しの方

- 旧中山道の場合：大宮郵便局（北）信号を川越方向に50m
- 国道17号線の場合：大成三丁目を岩槻方向に1km

〒331-0814
埼玉県さいたま市北区東大成町1-227
TEL 048-663-2501 FAX 048-666-4673

見学・面接のお問い合わせは
ホームページから→→→

